

平成28年度 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

物理学科長・コース長 近藤慶一

平成28年12月19日、けやき会館大ホールにてScience Lectureship Award (SLA) 国際学術講演賞の講演会と授賞式が、物理学科・物理学コースの企画、理学部後援会の支援で開催されました。今回の受賞者は、梶田隆章先生で、現在、東京大学特別荣誉教授で宇宙線研究所の所長も兼任されていますが、2015年度のノーベル物理学賞を受賞されたことでよく知られています。今回のSLAは第11回目で、3周目に入ったこともあり、従来の英語から日本語での講演と変え、学部学生にとって理解しやすくしました。講演タイトルは「ニュートリノと重力波」で、ノーベル賞の受賞対象となったニュートリノと最近取り組まれている重力波に関して講演されました。講演後の質疑応答では次々と学生から質問がなされました。

授賞式では、徳久学長と柳澤理学部長から祝辞を賜り、理学部長から賞状とメダル、物理学コースの学生から記念品の八千代切子グラスと花束の贈呈がありました。今回は、梶田先生とSLA学生委員全員との記念撮影を最後に入れました。授賞式終了後行われた懇親会では、途切れることなく梶田先生との会話がはずみました。学部・大学院生がある学問分野の頂点を極めたノーベル賞学者と身近に触れ合うことは稀有な経験であり、これからの勉学・研究に関して視野を広げる有意義な機会となったことでしょう。

SLAの準備や進行に携わった学生委員や事務職員の方々、梶田先生の招聘や連絡・広報に尽力された先生方、また資金援助を頂いた理学部後援会に深謝致します。



千葉大学西千葉キャンパス、けやき会館にて開催



梶田教授の紹介をする本学の近藤教授



講演中の梶田教授



授賞式の様子



和やかな懇親会の様子



梶田教授のお話に耳を傾ける学生、先生達



スピーチを述べられる梶田教授